

記入年月日
平成 3 年 4 月 23 日

事務事業名		地域医療対策事業		事業区分		担当	
				新規/継続	継続	事務事業No.	010302000346
政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課 課長名 グループ 担当者名	040401 健康推進課
政策体系	総合計画の施策名		0103 地域医療体制の充実				
	政策名		01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり				
	施策名		03 地域医療体制の充実				
	手段名		02 ②地域医療機関などの連携				
財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し (年度～)
	01	04	01	01	02	00	保健衛生総務事業
法令根拠							 期間限定の場合、総投入量を（３）投入量の右側に記入

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

(1) 事務事業の概要

手 段	①事務事業の概要（事務事業の全体像）	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	休日（日曜、祝祭日）及び年末年始・平日の夜間の初期救急医療体制について、市内の医療機関の協力により休日当番医制を実施、西部メディカルセンター・協和中央病院・結城病院が2次救急を病院群輪番制により実施。また、筑波メディカルセンターが小児救急医療に係る機能を担う。 また、かかりつけ医・歯科医・薬局の普及啓発を行い、さくらがわ地域医療センターと連携し、市民が安心してできる医療体制の構築を推進する。 ・在宅当番医委託料：休日・祝祭日 1日45,000円 ：年末年始（12月29日～1月3日） 1日60,000円	休日当番医制：市内医療機関の日程調整及び委託料の支払い事務 休日当番医療を72日間実施 茨城県救急医療コントロールセンターへの情報提供 病院群輪番制：筑西広域市町村圏事務組合に負担金を拠出 かかりつけ医等：ホームページや広報紙による啓発

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 （担当者の活動内容）	④活動指標 （活動量を表す指標）	単位	01年度 （実績）	02年度 （実績）	03年度 （計画）	04年度 （目標）	05年度 （目標）
・休日当番医療は、日程調整や委託料の支払いをする。 ・筑西広域市町村圏事務組合に負担金を拠出する。 ・かかりつけ医等を持つことを普及啓発する。	休日及び年末年始の日数	日	76.00	72.00	72.00	72.00	72.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 （誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標 （対象の大きさを表す指標）	単位	01年度 （実績）	02年度 （実績）	03年度 （計画）	04年度 （目標）	05年度 （目標）
市民	人口	人	39,692.00	38,905.00	38,118.00	37,331.00	36,554.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 （この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標 （対象における意図の達成度を表す指標）	単位	01年度 （実績）	02年度 （実績）	03年度 （計画）	04年度 （目標）	05年度 （目標）
休日（年末年始）や夜間でも、市民の医療体制が確保でき、適切な初期医療が受けられる。	休日診療人数	人	864.00	290.00	300.00	400.00	500.00
	かかりつけ医を決めている人の割合	%	67.00	67.20	68.00	69.00	70.00
	地域で適切な医療が受けられていると思う人の割合	%	52.20	53.30	54.00	55.00	56.00

(3) 投入量（事業費）の推移				01年度	02年度	03年度			期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		0
			県支出金	千円	0	0	0		0
			地方債	千円	0	0	0		0
			使用料・手数料	千円	0	0	0		0
			その他	千円	0	0	0		0
			一般財源	千円	433,468	9,302	9,299		0
			事業費計（A）	千円	433,468	9,302	9,299		0
		正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人			

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)			03年度事業費 予算 (千円)		
	12 委託料	3,330		12 委託料	3,375	
	18 負担金補助及び交付金	5,972		18 負担金補助及び交付金	5,924	
			合 計	9,302		合 計

事務事業名	地域医療対策事業	事務事業No.	10302000346	所属課	健康推進課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 休日や年末年始における救急診療を確保するため、昭和59年から開始している。現在は、真壁医師会桜川支部へ委託し運営している。 休日当番医の他、平成30年10月より、さくらがわ地域医療センターが初期救急医療機関として24時間365日対応している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 休日診療実施にあたっては、隣接する自治体との連携が必要と思われる。当番医の中には、内科・小児科等の専門分野外の医療機関もあり、医師会の要請もあり協力しているが、できれば内科・小児科の医療機関で担当してほしいとの意見が聞かれる。なお、筑西広域病院輪番制及び小児救急医療については、現在の医療体制において、不可欠であると思われる。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) ☒ 結びついている 休日・年末年始及び夜間の医療体制の確保ができ、安心して医療が受けられる施策体系に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) ☒ 妥当である 地域医療確保・充実のため必要である。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) ☒ 向上余地がない 緊急時の救急医療体制は必要であり、市民目線に立った地域医療、休日診療体制の整備が必要である。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) ☒ 影響有 休日の診療体制整備は必要であり廃止はできない。
有効性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ☒ 具体的な手段、事務事業名 ☒ 余地がない 救急医療(休日診療)は市民の医療を確保することが重要であり廃止・統廃合はできない。 さくらがわ地域医療センターへの委託も可能
	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) ☒ 削減余地がない 地域医療確保・充実のため削減の余地はない。
効率性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) ☒ 公正・公平である 地域医療の充実のためであるので公正・公平である。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇒	現在休日の対応について、医師会協力による休日当番医とさくらがわ地域医療センターの初期救急の2箇所がある。令和2年度の新型コロナウイルス感染症対策としてさくらがわ地域医療センター発熱外来や真壁医師会PCR検査センターの情報提供を行い連携を図った。																					
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う ☒ 現状維持 ☐ 廃止 ☐ 休止		(複数回答可) ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☐ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 安心して市民が医療が受けられるように桜川医師会の協力のもと、さくらがわ地域医療センターとの連携や、広域で実施している輪番制及び小児救急医療体制の確保について継続する。また、適切な医療が確保できるよう市民へのかかりつけ医を持つことの啓発や情報提供を行う。		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(6) 事務事業優先度評価結果																							
成果優先度評価結果		②																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 ☒ A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 ☐